

第2回 横浜市泉区地区センター指定管理者選定委員会 会議録	
開催日時	令和5年7月31日(月) 13時50分～16時50分
開催場所	横浜市泉区役所 4AB会議室
出席者	柴田委員長、石井委員、金子委員、清水委員、長谷委員(計5名)
欠席者	なし
開催形態	一部非公開(審査以降)(傍聴者0人)
議 題	横浜市新橋コミュニティハウスの指定候補者の選定 (応募団体の面接審査、総括審査)
決定事項	1 指定候補者を特定非営利活動法人中川コミュニティグループとする。
審議内容	<p>1 開会 委員長より、委員全員が出席していることから、横浜市泉区地区センター指定管理者選定委員会運営要綱第7条第3項により委員会が成立していることの報告があった。</p> <p>2 事務局説明 事務局より、次のとおり説明を行った。</p> <p>(1) 委員会の公開・非公開 第1回選定委員会で決定したとおり、応募団体のプレゼンテーション及び質疑応答までを公開、審査以降を非公開とする。</p> <p>(2) 本日の委員会の流れ 面接審査、休憩、総括審査の順に行う。</p> <p>(3) 応募団体について 応募団体は1団体であったため、団体名は伏せずにプレゼンテーションを行う。時間はプレゼンテーション20分、質疑応答20分、審査10分とする。 なお、応募団体は公募要項に定める欠格事項に関する調査結果については非該当であった。</p> <p>(4) 応募団体の財政状況について 長谷委員から、応募団体は健全な財務状況である旨報告があった。</p> <p>3 面接審査</p> <p>(1) 団体プレゼンテーション</p> <p>(2) 質疑応答 (委員) 若いお母さんを含めた乳幼児へ向けた事業は、どのようなものがあるか。 (団体) 新橋コミュニティハウスでは、乳幼児親子がいつでも遊びに来ていただける場所(キッズスペース)を確保している。また、当グループが管理する施設では、泉区役所と連携して赤ちゃん教室を開催し、育児の悩みを聞いたり、相談したりする場を設けている。 (委員) 赤ちゃん教室の対象は満1歳までなので、1歳児以上の事業も考えていただけるとありがたい。 (団体) 指導員と相談しながら、今後検討していきたい。 (委員) 施設のPRについて、地域の回覧板で、施設の情報を拝見して</p>

いるが、回覧板だとなかなか見てもらうことが少ないので、ほかにPR方法は考えているか。

(団体) 8月より、横浜市アクセシビリティ方針に対応したホームページにリニューアルし、視覚障害や聴覚障害のある方等、誰もが理解しやすいホームページを作ることによって、多くの利用者に見ていただきたいと考えている。

また、情報紙の回覧については、当グループの母体となっている4地区連合のメリットを生かしつつ、当グループで運営している4館で情報共有しながらPRを進めていきたい

(委員) 災害時の対策（特に防災用品等の管理）はどのように備えているのか。

(団体) 当グループが管理する施設には、泉区と災害時等における協定を結んでいる施設もあり、そこでは補充的避難場所として、防災用品等の保管をしている。災害用備蓄は指定管理者独自ではなかなかできないこともあるので、今後も災害発生時の状況に応じて、区と協力していきたい。

(委員) 夏まつりなど、さまざまな自主事業が行われているが、事業にどのくらい費用が掛かるのか。法人の定期積立が多いように見受けられるが、利用者に還元できないか。

(団体) 当グループで運営している4施設のホームページのリニューアルをはじめ、予約システムの導入など、指定管理料では賄えない部分を補填することで、利用者サービスの向上に繋げていきたい。

(委員) 非常にたくさんの自主事業を実施して感心しているが、これは独自で企画しているのか、ケアプラザ等と共催しているのか。

(団体) ほとんどの自主事業を職員が独自に企画している。近隣の泉スポーツセンターの指導員や新橋地区の住民が講師を務めるなど、地域の方にもご協力をいただいている。

(委員) 自主事業の参加者数は延べ人数となっているが、新規の参加者はどのくらいか。また、新規参加者を確保するために、どのような手段を講じているか。

(団体) 新規参加者に向けては、「はじめての〇〇教室」など、自主事業の募集段階で、継続して申し込める自主事業との棲み分けを図っている。

(委員) 時間制限のある方やインターネットを利用できない人など、なるべく多くの方が申請できるよう、申し込み方法の種類はどのくらいあるか。

(団体) 自主事業の内容によって、電話での先着順、返信用はがきを持参、往復はがきなど、募集方法をチラシに掲載しているが、電話での申し込みが多い。先着順にしているが、利用者からのご意見も特になく、定員いっぱいになっても申し込みがあれば、多少は受け入れている。

(委員) 多くの施設を運営されているが、これまでの運営で蓄積された経験を継続していくための担い手をどのように育成していこうと

	<p>考えているか。</p> <p>(団体) 職員をはじめ、町内会でも高齢化が進んでいることは、課題として認識している。担い手に関しては、地域のPTAとの繋がりを大切にしている。</p> <p>(委員) 昨今、暑い日が続き、熱中症になる方が増えているので、活動時の熱中症対策は講じているか。</p> <p>(団体) 当施設に関しては、ほとんどの部屋に冷暖房を設置しているので、利用者には快適に過ごしていただいている。</p> <p>応募書類及び面接審査に基づき、評価基準項目に従い、各委員が採点を行った。</p> <p>4 総括審査 「特定非営利活動法人中川コミュニティグループ」が、出席委員5名の合計点で779点/850点を獲得した。加減点項目を除いた合計点は729点となり、最低基準点の480点以上を満たしていることから、同団体を指定候補者に選定した。</p> <p>5 泉区長への報告 選定結果報告書を作成し、泉区長へ提出する。</p>
<p>資料 ・ 特記事項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 第2回横浜市泉区地区センター指定管理者選定委員会次第</p> <p>(2) 横浜市泉区地区センター指定管理者選定委員会 評点表</p> <p>(3) 応募団体の市税納付状況の照会結果</p> <p>(4) 応募団体の暴力団排除条例に関わる照会結果</p> <p>(5) 平成30年度横浜市泉区地区センター指定管理者選定委員会選定結果報告書</p> <p>(6) 横浜市新橋コミュニティハウス指定管理者公募要項等</p> <p>2 特記事項 なし</p>